

「しずおかTIP-OFF奨学金 第1回奨学生からの手紙」

夢の大学生活

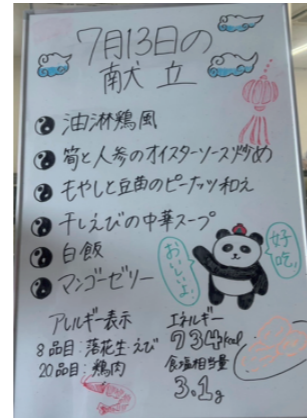
A.A (21歳) 精神障害 常葉大学健康栄養学科

私は食と健康に興味があった為、栄養学を専攻し大学へ入学しました。大学では栄養に関する専門的な知識を、日常から臨床の範囲まで幅広く学びました。体が食べ物を代謝する仕組み、そのために必要な栄養素など自分でも知っているようで知らない事が沢山あり、毎日が新鮮であつという間に過ぎていきます。大量調理実習演習では実際に大学の食堂にて100食分の昼食を作りました。

衛生管理、栄養素の算出、食材の発注など業務は多岐にわたり、座学では学べない現場の雰囲気や帳票類の事務作業、調理、指示技術など多くのことを学びました。自分には余裕をもって先を見通す力・決断力が必要だと強く感じました。

また、私は教職課程を追加で受講したため、普段の勉強との両立が大変でしたが、教職でのコミュニティは通常より打ち解けたアットホームな雰囲気で楽しかったです。

そんな中で、自分にとって一番の刺激となったことは尊敬する教授に出会えたことです。価値観や経験など人間的に本当に目標となる先生で、心から出会えたことに感謝しております。現在は先生のゼミに入ることが出来、ゼミ活動として臨床栄養の視点から健康寿命延伸に寄与する宅配弁当システムの構築を目的とした弁当開発を行っています。少しでも多くの人の健康を栄養面からサポート出来るよう日々励んでおります。



給食実習で、自分たちで考えた献立の案内プレート



給食実習で作った献立

大学生活の様子

ペンネーム：こたつ 筑波技術大学2年

私が在籍している筑波技術大学は、視覚や聴覚に障害を持った学生が在籍しており、全国からはもちろんですが、外国から学びに来る方もいます。そういった友人が多くでき、さまざまな情報や刺激を受けつつ、毎日楽しい学生生活を送っています。

私が学んでいる分野は鍼灸師の資格を取得するための専門的な学習をしていますが、敷地内に病院があり、そこで働いている医師や鍼灸師の方が授業を担当されています。ですので、より詳細で専門的な知識を学習することができています。

敷地内には寄宿舎もあり、そこで共同生活をしています。食事を一緒に作って食べたり、学習や雑談をしたりして普段できない共同生活をしています。サークル活動では、視覚障害者スポーツも盛んにおこなわれています。フロアバレーというスポーツのサークルでは、40人程度参加しており、みんなで一緒に汗を流しています。体育館にはトレーニングジムやランニングマシンも完備されており、気分転換に運動をして体力の向上に努めています。大学は、さまざまな面で良い環境が整っています。そういった環境の中で大学生活を送れることがとても幸せだと感じています。



夢に向かって

D.M. (18歳)

この度は、しずおかTIP-OFF奨学金の1期生に採用していただき、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

私は、大学に入って初めて受けた心理学の講義が大変興味深く、人の感情や行動のしくみについてもっと学びたいと思うようになりました。今後は心理学を幅広く学んでいき、ゼミでさらに専門的な研究をしたいと考えています。そして将来は、臨床心理士の資格を取り、相談者の心に寄り添って問題解決の手助けになるような仕事がしたいという新たな夢ができました。

私は、先天性の病気で歩行が不自由なことで、他にも疾患があるため、進学には不安がありました。しかし、奨学金をいただいたおかげで、実家から通うことができています。私の大学は完全バリアフリーの校舎で、講義を受ける上での支援も先生や職員の方と相談して対応してもらっています。遠距離通学のため疲れますが、新しい友人としたり、留学生とのイベントに参加したり、楽しく充実した毎日を送っています。

このような貴重な機会を与えてくださったしずおかTIP-OFF奨学金関係者の皆様に心より感謝し、奨学生である自覚を持ちながら、これからも目標に向かって努力してまいります。



大学生活について

Y.W (18歳) 広汎性発達障害

私は医療系の大学に通っており、現在1年生です。まず、大学の授業において大変だったことは週に1度の実験とレポートの提出です。実験自体は楽しいのですが、1日中実験をするので疲れやすい私にとっては体力的に辛いと感じることもありました。また、レポートは次の週までに書いて提出します。私は要点をまとめて書くことが苦手でレポートを書くのにとっても苦戦し、1日中書いていたこともあります。しかし、何度も書くことでレポートを書くコツを掴むことができました。この経験から、苦手なことでも諦めずに続けていくことが大切だと改めて感じました。

次に、大学では自分の特性などを自ら先生に伝えることが大事だということに気づきました。高校では皆が先生と面談する機会があって、困っていることなどを相談しやすかったのですが、大学ではそういった機会がないので、自ら先生にメールで相談させていただいたことがあります。大学では、先生と話す機会を自分で作る大切だと思いました。

最後に、大学生活は想像していた以上に大変なことだと感じました。初めての一人暮らしとの両立も難しく、慣れないことも沢山ありました。上手くいかないこともあるかもしれませんが、大学生活や一人暮らしを自分のペースで続けていけるように頑張っていきたいと思います。



2025年度しずおかTIP-OFF奨学金募集要項

給付額：月額5万円(年60万円)返済不要  
給付期間：修学最短期間  
募集学生数：毎年5名以内



2025年10月1日募集開始

応募資格

- 以下のいずれの項目にも該当する人
- 各種障害者手帳または主治医の診断書を有し、静岡県に居住する人
- 2025年4月に日本国内の大学、短大、専門職大学、専門学校に入学する人、または在学している人(通信教育は除きます)

詳細は当奨学金ホームページをご覧ください。

